

# 令和元年度安芸高田市教育委員会会議

## 第5回臨時会

### 令和2年度使用小学校教科用図書採択会議録（概要）

- 1 日 時 令和元年8月7日（水）10時00分から14時50分まで
- 2 会 場 安芸高田市民文化センター 3F 視聴覚室
- 3 出席委員等 教 育 長 永井 初男  
 教育長職務代理者 上田 隆之  
 委 員 山本 博明  
 委 員 亀井 聖  
 委 員 金川 佳寛  
 委 員 広瀬 ゆみ子
- 4 出席職員  
 学校教育課 課 長 内藤 麻妃  
 学校教育課 学校教育指導係 主 幹 和田 治子  
 学校教育課 学校教育指導係 指導主事 栗原 団司

会 議 概 要	
教育長	議案の審査に入ります。日程3議案第30号「令和2年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書の採択」について提案理由及び議案の説明を求めます。
課長	<p>それでは、議案第30号「令和2年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書に係る教科書の採択について」提案理由をご説明いたします。</p> <p>本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号に基づき、令和2年度から、安芸高田市立小学校において使用する教科用図書に係る教科書を採択するものです。</p> <p>7月30日付けで、安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会会長から、採択について答申を受けましたので、この答申をもとに教育委員会として採択をしていただきますよう、別紙のとおり提案いたします。</p> <p>なお、議案の内容につきまして、引き続き、私の方から説明をいたします。</p> <p>議案に添付しております一覧が、提案をさせていただく種目ごとの教科用図書とその採択理由でございます。また、別冊で資料としてお配りさせていただいておりますのが、安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会から提出されました調査研究結果についての答申でございます。令和2年度から使用する教科用図書として提案させていただく教科用図書は、選定委員会が第一推薦として答申したものでございます。これより、担当者から教科ごとに採択理由等のご説明をいたしますので、ご審議のほどを宜しくお願いいたします。</p>
教育長	只今の事務局からの説明について、質問等ございませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、事務局、説明をお願いします。

指導主事	<p>選定委員会の答申について説明をさせていただきます。令和元年6月4日付けで諮問を受けました、令和2年度に使用する小学校教科用図書について、調査研究結果また選定委員会の答申を踏まえて、採択理由を説明します。</p>
指導主事	<p>安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会は、安芸高田市教育委員会が定めた教科用図書の採択基本方針に基づき、1.基礎基本の定着 2.主体的に学習に取り組む工夫 3.内容の構成・配列・分量 4.内容の表現・表記 5.言語活動の充実という五つの観点について調査研究を行い、安芸高田市の児童にとってまた、教職員にとってもっとも適切な教科用図書はどれであるか審議いたしました。小学校の教科書につきましては、第一推薦を中心に第二推薦をあわせて、採択理由に挙げている特長的な事項について教科書を提示しながら説明をいたします。お手元の教科書の見本本をご覧いただきながら、進行してまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
指導主事	<p>まず、国語について説明いたします。現行は光村です。第1推薦 光村、第2推薦 東書になっております。</p> <p>観点1です。光村は、各単元の冒頭に目標を示しています。例えば、「場面と場面をつなげて、考えたことを話そう」の単元では、「何を」「どのように」学習するかを示しています。また、「言葉のたから箱」では、考えや気持ちを伝える言葉を示し、各学年の発達段階に応じた語彙を豊かにする工夫が見られます。東書は、各単元の教材文の前の導入ページに、「想像したことを音読で表そう」のように、「言葉の力」の目標を具体的に示しています。また、言葉の特徴や使い方に関する事項「言葉の広場」があり、たくさんの言葉を示しています。たとえば、第4学年では語彙を豊かにするための語句の示し方として、人物の行動や気持ち、性格を表す言葉という3項目に分けて、語句が掲載されています。</p> <p>観点2です。光村は、「読むこと」の単元では、読みの着眼点と学習の見通しを示し課題を一覧できるようにして思考の整理の仕方、学びの姿を示しています。また、自己評価できるように「ふりかえろう」を設定しています。東書は、興味・関心を高めるための工夫として、学習の見通しを示しています。見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫が見られます。</p> <p>観点3です。光村の教科書の目次をご覧ください。一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列しています。東書は、第2学年以上の各巻に、「国語の学習の進め方」「〇年で学習する言葉の力」を設けてあり、年間を通じて「何を、どのように学ぶか」が見通せるようになっています。</p> <p>観点4です。光村では、「つきたい力・学習すること」として、第2学年以上で「□学年で学習すること」として、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに、教材名・身につきたい力(たいせつ)・学習用語を示しています。東書では「つきたい力・学習すること」として、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身につける言葉の力を一覧で示しています。また、本文記述との適切な関連付けがなされた図表等が示されています。</p> <p>観点5です。光村は、学年ごとにテーマ議題を提示し、グループやクラス全体の話し合いの仕方を具体的に提示することによって、話し合い活動の充実を図っています。東書は、考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫として、「グループでの話し合い」を示し、グループによる話し合いに力を入れています。</p> <p>それでは、選定理由をご覧ください。</p> <p>「読むこと」の単元では、読みの着眼点と学習の見通しを示し、手引きで課題を一覧できるようにして思考の整理の仕方、学びの姿を示してあり、見通しを立てたり振り返ったりする学習のための構成上の工夫がされている。</p>

	<p>また、各単元の冒頭に具体的な目標を示している。各学年の「言葉のたから箱」では、考えや気持ちを伝える言葉、人物や事物を表す言葉が示されており、語彙を豊かにするための工夫がされている。</p> <p>以上のことから、国語は、第一推薦を光村としたいと思います。</p>
教育長	<p>それでは、これより質疑に入ります。只今の国語の教科書の説明についての質疑はございませんか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>特に質疑・意見等が無いようですので、国語については報告いただきましたように、光村を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>異議なしと認め、国語については光村を採択することに決定しました。</p>
教育長	<p>続いて、書写について説明を求めます。</p>
指導主事	<p>書写について説明いたします。現行は、光村です。第1推薦 光村、第2推薦 東書になっております。</p> <p>観点1です。光村の単元の目標の示し方では、「分かりやすいのはどちらだろう」といった問いかけの形態で、目標が設定されています。東書は「～するにはどうしたらよいか考えましょう」のように課題解決を問いかける目標が設定されています。</p> <p>観点2です。光村は、ページ下部、「たいせつ」のところですが。文字の書き方の原理・原則を「考えよう」→毛筆で書いて「確かめよう」→硬筆に「生かそう」の学習過程を提示し、見通しをもって学習に取り組めるようにしています。友達と話し合う学習過程を設け、対話的な学びを通して学習を深められるような構成になっています。東書は、学習過程を「見つけよう。→たしかめよう。→生かそう。→話し合おう。→広げよう。」とし、どのように学ぶかを明確に示し、「書写のかぎ」をキーワードに課題解決的な学習展開になっています。ふり返りを中心に友達と話し合う活動を取り入れています。</p> <p>観点3です。光村は、書写の歴史に関する資料や伝統的な言語文化に関する内容の扱いも様々な内容で提示されています。東書は、書写の歴史に関する資料や伝統的な言語文化に関する内容の扱いの提示があります。</p> <p>観点4です。光村は、硬筆では、書き順のきまりを緑色の矢印、上段筆順（決められた色）下段筆順（赤数字）で示しています。書き順の決まりを異なる書体と文字で2回示しています。書き込み欄を教材の右側に配置しています。毛筆の教材は、右上に単元名を色分けをして提示しています。東書は、硬筆では、筆順のきまりにあたる部分の色を変え、筆順を赤数字で示し、一部を書き込むようにしています。色の数や分量を制限したり、書き込み欄を文字の下や教材文の左右両方に配置したりしています。毛筆では、穂先の通り道がよく分かる図版となっています。</p> <p>観点5です。光村は「学習に生かそう」「やってみよう」「書写ブック」「発展」を設定しています。東書は「生活に広げよう」「学びに生かそう」を設定しています。</p> <p>それでは、選定理由をご覧ください。</p> <p>学習過程を「考えよう（整った文字の書き方を考えよう）」→「確かめよう（書き方をたしかめて毛筆で書こう）」→「生かそう（学習したことを生かして、書こう）」として提示してある。「考えよう」と「たしかめよう」では、自分で考えたり、確かめたりするだけでなく、友達と話し合う学習展開を設け、対話的な学びを通して、学習を深められるよう構成となっており、見通しをもち、課題解決的な学習を実施するための工夫がされている。</p> <p>また、「学習に生かそう」「やってみよう」「書写ブック」「発展」の単元を設定し、学習や日常生活</p>

	<p>に生かす言語活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、書写は、第一推薦を光村としたいと思います。</p>
教育長	<p>只今の書写についての説明につきまして、質疑を受けたいと思います。ご質疑・ご意見等いかがでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>それでは、質疑・意見等無いようですので、書写につきましては報告を頂きましたように光村を採択することに決定して、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>異議なしと認め、書写につきましては、光村をすることに決定しました。</p>
教育長	<p>それでは、続いて社会についての説明を求めます。</p>
指導主事	<p>社会について説明いたします。現行は、日文です。第1推薦 東書、第2推薦 教出となっております。</p> <p>観点1です。東書は、タイトルの左横に「つかむ」、「調べる」、「まとめる」の学習過程とともに、「どのような～でしょうか。」、「～は、なぜでしょうか。」等の問いかけの形態で提示しています。教出は、見開きの左側に「この時間の問い」として「どのような～だろう。」等と、「次につなげよう」のコーナーを設け、「～はどうなっているだろう。」等と問いかけの形態で提示しています。</p> <p>観点2です。東書は、問題解決的な学習過程については、単元ごとに「つかむ」の後に「学習問題」を示し、見開きページごとに問いを提示しながら「調べる学習」を進め、学習問題について調べてわかったことを整理し、「まとめる」というページを設けています。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことをもとに、他の学習に「ひろげる」というページを設けています。教出は、問題解決的な学習過程について、単元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し、見開きページごとに「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め、キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けています。単元によっては、単元末に、次の学習や暮らしに「つなげる」、あるいは、学習を「ひろげる」というページを設けています。そして、「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示しています。</p> <p>観点3です。東書は、4年生の「自然災害から暮らしを守る」の学習で、「地震」を取り上げ、その発展に「風水害」、「火山災害」をそれぞれ取り扱っています。避難行動計画やハザードマップ、自主防災隊を取り上げ、学校が避難所になった場合、自分はどうするか考えさせているような工夫が見られます。教出は、4年生の「自然災害にそなえるまちづくり」の学習では、「地震」を取り上げ、続いて選択として、「水害」、「火山災害」、「雪害」を取り扱っています。災害に備えた施設や設備や地震や津波に備えたさらなる取組を調べ、これからの生活に生かすための標語作りをするなどの工夫が見られます。</p> <p>観点4です。東書は、「学び方コーナー」において「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・つたえる」の観点に分けて、場面に応じた学習方法を示しています。教出は、「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示しています。</p> <p>観点5です。東書では、単元末の「まとめる」の場面や単元後の「いかす」場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けています。教出では、単元末の「まとめる」の場面や単元後の「つなげる」場面において、「説明しよう」「話し合おう」と提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けています。</p>

	<p>それでは、選定理由をご覧ください。</p> <p>問題解決的な学習過程については、単元ごとに「つかむ」の後に「学習問題」を示し、見開きページごとに問いを提示しながら「調べる学習」を進め、学習問題について調べてわかったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことをもとに、他の学習に「ひろげる」というページを設けてあり、課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫がされている。</p> <p>また、単元末の「まとめる」の場面や単元後の「いかす」場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、収集した情報を基に、社会的事象について話し合ったり説明したりする活動を示し、お互いの考えを深める工夫がされている。</p> <p>以上のことから、社会は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今、社会について説明をいただきました。ただいまの説明につきまして質疑・意見等ございませんでしょうか。
委員	現行は日文ですが、推薦の中に日文が入っていませんが、それはなぜですか。
指導主事	<p>答申をご覧ください。観点2です。東書は「問題解決的な学習過程については、単元ごとに『つかむ』の後に『学習問題』を示し、見開きページごとに問いを提示しながら『調べる学習』を進め、学習問題について調べてわかったことを整理し、『まとめる』というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に『いかす』、学習したことをもとに、他の学習に「ひろげる」というページを設けている。」とあります。また、教出は「問題解決的な学習過程については、単元ごとに『みんなでつくった学習問題』を示し、見開きページごとに『問い』と『次につなげよう』という項目を示して調べる学習を進め、キーワードに注目して学習を振り返る『まとめる』というページを設けている。単元によっては、単元末に、次の学習や暮らしに『つなげる』、学習を『ひろげる』というページを設けている。」とあり、2者は、単元末のまとめ方、学習の振り返り等についての具体的な内容が示してあります。日文は「問題解決的な学習の進め方について、単元ごとに『学習問題』を示し、見開きページごとに『問い』を提示しながら調べる学習を進め、これまで学習してきたことをもとに、学習問題について話し合う活動を設定しています。単元によっては、単元末に、もっとくわしく調べてみたいことを取り上げる『わたしたちの学びを生かそう』というページを設けている。」とあります。東書や教出は、単元末のまとめ方において具体的な内容が示されており、安芸高田市の実態に合っていることから、第1推薦 東書、第2推薦 教出になりました。</p>
教育長	その他、ご質疑はありませんか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、質疑・意見が無いようですので、報告をいただきましたように、社会につきましては、東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、社会については、東書を採択することに決定しました。
教育長	それでは、続いて地図についての説明を求めます。
指導主事	<p>地図について報告します。現行は帝国です。第1推薦 帝国、第2推薦 東書となっております。</p> <p>観点1です。帝国は、読図に関しては、『地図って何だろう』『地図のやくそく』『地図帳の使い方』で順を追ってくわしく説明し、具体的な活用の仕方を例示しています。巻頭の『世界発見!』で民族衣装・あいさつの言葉、巻末の『世界の国々』で世界の国々の旗を、世界の各地方図で、地域の国旗や特色を示すイラストや写真等を掲載しており、「広く見わたす地図」を掲載し、少し広い範囲</p>

での地理的環境を捉えられるように示されています。東書は、読図に関しては、『地図帳の使い方』で説明し、具体的な活用の仕方を例示しています。巻末の『世界の国々』では世界の国々国旗を、巻頭の『地図のぼうげんに出発！WORLD MAP』や世界の各地方図では、物産や建物・地域の特色を示すイラストや写真等を掲載しています。

観点2です。帝国では、巻頭の『世界発見！』のイラストマップに、世界各地の名所や食事等をイラストで示すとともに「世界の国からこんにちは！」でイラストを用いて世界のあいさつを紹介しています。全般にわたって「地図マスターへの道」で作業的な学習を例示したり、防災マップ作りの手順を示して体験的な学習を例示したり、「地図のやくそく」で距離や方位を調べる方法や土地の面積や形を調べる方法を写真入りで掲載したりしています。東書では、『くらべてみよう日本と世界』で、世界各地の有名な山、川、建造物等をイラストで紹介したり、全般にわたってキャラクターの吹き出しで作業的な学習を例示したり、方位や国の大きさを調べる方法を写真入りで掲載したりしています。

観点3です。帝国は、日本の地方ごとに広く見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列されています。東書は、全体から部分をとらえることができるように、日本列島全体を見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列されています。

観点4です。帝国は、『地図のやくそく（1）（2）』で、地図記号、この地図での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、高さの見方、索引の使い方、目的に合わせた見方等について、イラストを使ったり、ワークシート形式で記入したりして説明するなど、自ら学ぶことができるように工夫されています。二次元コードを掲載し、Web ページ上で資料の活用方法を紹介しています。東書は、『地図帳の使い方』で、地図記号、この地図帳での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、広く見る時、詳しく見る時、地方別に見る時の見方について、イラストを使って説明しています。「D マーク」を掲載し、Web ページ上で資料等の活用方法等を紹介しています。

観点5です。帝国は、全般にわたって、「地図マスターへの道」で、イラスト、吹き出しを活用して学び方や調べ方の簡単な作業を指示し、資料活用の仕方を示しているので、調べたり話したりしやすい構成になっています。また、自分たちの地域でも作成できるように、『日本の自然災害と防災』において、「防災マップづくり」で地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示し、地図の作品の例を掲載しています。東書は、「資料地図、統計表」で、ページ上段の言葉やキャラクターの吹き出しで、調べる観点等を示しています。自分たちの地域でも作成できるように、『日本の自然災害』において、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について記載しています。

それでは、採択理由をご覧ください。

全般にわたって「地図マスターへの道」で、作業的な学習を例示したり、巻頭の『世界発見！』のイラストマップに、世界各地の名所や食事等をイラストで示したりするとともに「世界の国からこんにちは！」では、イラストを用いて世界のあいさつを紹介したりしており、主体的に地図帳を活用して学習に取り組むよう工夫されている。

また、『日本の自然災害と防災』において、「防災マップづくり」で地図を使ったまとめ方のヒントや手順、地図の作品の例を掲載し、自分たちの地域でも作成できるように、調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫がされている。

以上の事から、地図は、第一推薦を帝国としたいと思います。

教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の地図に関わる説明につきまして、質疑・ご意見等ありますでしょうか。
委員	「QRコード」「Dマーク」がどちらにも出てきたと思いますが、帝国では、見開きごとに「QRコード」があり、東書では、「Dマーク」についてリストがありますが、違いについて説明をお願いします。
指導主事	実際に読み取りをしますと、東書はリストから選んで資料の閲覧ができ、帝国はその内容ごとに直接アクセスできるように設定されています。
教育長	その他、ご質疑はありませんか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質問・意見が無いようですので、報告がありましたように、地図につきましては帝国を、採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議が無いようですので、地図につきましては、帝国を採択することに決定しました。
教育長	続いて、事務局から算数について説明を求めます。
指導主事	<p>算数について報告します。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 教出となっております。基礎的・基本的な概念・性質や数理的に処理する技能を身につけることができるように、各社とも工夫や配慮がされています。</p> <p>観点1です。1年生の教科書ですが、東書は、基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点が置かれています。例えば、1年①大判の教科書では、10の補数を自分で考えて書く学習活動に繰り返し取り組ませる流れになっています。</p> <p>教出は、つまずきやすいポイントを意識しながら学習したり、既習事項を繰り返し参照したりできるように工夫しています。例えば、1年の教科書37ページをご覧ください。足して10になる数の組み合わせを、ドット図、ブロック図、並び方のきまりとともにまとめて示し、繰り返し確認できるように折込にしています。</p> <p>東書は、各段の九九について、読み仮名まで読みやすく表記しています。26ページには、九九を覚えるための具体的な練習の仕方を1ページにまとめて示し、繰り返し練習できるようにしています。教出は、各段の九九を、読み仮名まで読みやすく表記してあります。また、具体的な練習の仕方をまとめて示し、繰り返し練習できるようにしています。</p> <p>観点2です。どちらも、主体的な学習を意図し、単元の導入に当たっていずれの教科書も、児童が課題意識を持って取り組めるよう、操作活動、既習事項の振り返り及び日常生活の場面からの出題等を設定しています。東書は、キャラクターの吹き出しを手がかりにして、図やイラスト等で日常の場面や既習を取り上げ、児童の話し合いにより課題を見いだす設定となっています。児童の話し合いによる課題設定は、友達との「対話」も意識しています。教出は、「学んだことを使おう」と題して、最初の疑問を大切に課題設定へ進んでいくように考えられています。</p> <p>観点3です。東書では、6年生「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が1.5ページで示されています。教出では、6年生「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が1ページで示されています。</p> <p>観点4です。各社ともに、キャラクターや吹き出し、字体、文章の改行など、読みやすさ、使いやすさを意識した表現・表記になるような工夫があります。東書では、表紙裏にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所には「Dマーク」が示されています。教出は、「学びの手引き」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所には、「ま</p>

	<p>なびリンク」マークを示しています。</p> <p>観点5です。いずれの教科書も特設ページを設け、学習の進め方（学習の流れ）と「みんなで話し合おう」や「学び合おう」等の言語活動の観点を示しながら説明しています。東書は、特設ページ「学びのとびら」を設け、「友だちと学ぼう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、その活動の観点を単元の中にも挿入しています。教出は、特設ページ「学習の進め方」を設け、「みんなで話し合う」等の活動の観点を絵と言葉で示し、また、その活動の観点を単元の中にも挿入しています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>図やイラスト等で日常の場面や既習を取り上げ、対話により児童が課題を見いだす設定となっている。対話の内容には、考え方の筋道が示されており、問題解決的な学習を実施するための工夫がされている。</p> <p>また、「学びのとびら」「友だちと学ぼう」等の特設ページを設け、学習の進め方（学習の流れ）と「考えを出し合う」等の言語活動の観点が示されており、その観点を複数の単元の中にも学習内容と関連付けて挿入してあることから、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、算数は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	これより質疑に入ります。只今の算数に係る説明につきまして、質疑・ご意見ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、算数につきましては、報告いただいたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議が無いようですので、算数につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	続いて、理科についての説明を求めます。
指導主事	<p>理科について報告します。現行は、啓林館です。第1推薦 啓林館、第2推薦 学図となっております。</p> <p>観点1です。啓林館は、呼びかけの形で学習のめあてを提示し、自己チェックができるマークを設けてまとめています。また、学習内容が実生活に関連する内容を掲載しています。学図は、呼びかけの形で問題を提示し、単元末に「まとめてみよう」を設けています。また、番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明しています。</p> <p>観点2です。啓林館は、学習の進め方を巻頭の「自然の不思議を、とき明かそう！」で示し、実験の後に「もっと知りたい」を設けています。また、まとめに基本・活用・応用の問題が提示されています。「QRコード」が示されており、それを読み取ることでデジタルコンテンツの利用が出来ます。学図は、学習の進め方を、巻頭の「科学の芽を育てよう」で示しています。また、学習を進め、まとめた後に、「学びを生かそう」の項目を設けています。</p> <p>観点3です。啓林館は、単元以外の内容として、問題解決の流れと学習のポイントや他単元の学習内容の整理がされています。学図は、単元以外の内容として、各学年の問題解決の力の提示や科学者の伝記の紹介があります。</p> <p>観点4です。啓林館は、各学年の巻頭には、「自然の不思議をとき明かそう！」で学習の進め方の資料を掲載しています。また、各単元の冒頭では、写真を使用して自然事象を提示しています。学図は、各学年の巻頭には、「科学の芽を育てよう」で、学習の進め方等の資料を掲載しています。また、各単元の冒頭では、写真を使用して自然事象を提示しています。</p>

	<p>観点5です。啓林館は、学習過程において、机をはさんで話し合う形で児童の対話が示されています。学図は、学習過程に関係付けられた項目において、児童の対話が示されています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>学習の進め方を巻頭の「自然の不思議を、とき明そう！」で示しており、課題解決の過程において、実験後に「もっと知りたい」を設けることにより、問題解決の力を育成するための工夫がされている。</p> <p>また、学習過程において、机をはさんで話し合う形で児童の対話が示されており、科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、理科は、第一推薦を啓林館としたいと思います。</p>
教育長	これより、質疑に入ります。只今の、理科についての説明にかかわる質疑・ご意見等ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑・ご意見等ないようですので、理科につきましては、只今ご報告を頂きましたように、啓林館を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、理科については、啓林館を採択することに決定しました。
教育長	続いて、生活についての説明を求めます。
指導主事	<p>次に、生活について説明いたします。現行は教出です。第1推薦 東書、第2推薦 教出になっております。</p> <p>観点1です。東書は、四季の変化を対比させたページについては、「校庭」「公園」「季節のくらし」「ほんとうのおおきさポケットずかん」で示されています。教出は、四季の変化を対比させたページについては、「校庭」「野原」「のはらのカレンダー」「町」で示されています。また、東書は、下33ページ、教出は、下46ページをご覧ください。自分たちの住む地域の生き物を扱っています。身近な生き物を取り扱っています。双方比べてみてください。</p> <p>観点2についてです。東書は、おもちゃづくりの単元の導入では、1ページの写真とイラスト、ふきだしで示されています。教出は、おもちゃづくりの単元の導入は、見開き2ページの写真とふきだしで示されています。また、「学びのポケット」のページを記載しています。</p> <p>観点3です。東書は、上1ページからご覧ください。スタートカリキュラムに関する内容です。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例がページの下段に示されています。それを踏まえて生活科の学習が進められることを保護者に伝える構成となっています。教出も上1ページからご覧ください。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例がページ下段にイラストで示されています。</p> <p>観点4です。東書は、キャラクターが、児童に思考や活動、安全・衛生上で留意することを促しています。また、巻末に「かつどうべんりちょう」があり、生活科に必要な力がコンパクトにまとめられています。さらに、まとめの説明や発表会の際にICT機器を使って効果的に伝える活動をわかりやすく設定しています。教出は、「学びのポケット」のページを設定して、他教科や既習の学習を生かすように配慮しています。また、サイコロマークで、生活科で育成する6つの力（気付く、自分でできる、考える、伝える、挑戦する、自信をもつ）を抽出して、単元導入ページに提示しています。</p> <p>観点5です。教科書全体をご覧ください。東書では様々なマークを設定し、それぞれの注意や注目箇所を的確に示しています。見つけたことを、電子黒板で説明したり、新聞にまとめて町の人に伝えたりするなど、多様な表現方法で伝え合う活動が示されています。また、「Dマーク」でパソコ</p>

	<p>ンやインターネットの使用を促しています。教出では、電子黒板、紙芝居、新聞などで発表したり、ポスターや感謝状を作成して伝え合ったりする活動を設定しています。「まなびリンク」のマークで、学習に役立つ情報が Web ページにあります。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>キャラクターが、児童に思考や活動、安全・衛生上で留意することを促し、イラストや写真に、問いやつぶやき等が記載され、活動したり考えたりする際のヒントになっているとともに、児童の興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>また、見つけたことや活動したことについて、電子黒板を使って友達に説明したり、新聞にまとめて町の人に伝えたりするなど、多様な表現方法で伝え合う活動が示され、言語活動の充実が図られている。</p> <p>以上のことから、生活は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、質疑に入ります。只今の、生活の教科書についての説明につきまして質疑・ご意見等ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に質疑・ご意見等、無いようですので生活の教科書につきましては、東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、生活につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	続いて、音楽についての説明を求めます。
指導主事	<p>音楽について説明いたします。現行は教芸です。第 1 推薦 教芸、第 2 推薦 教出になっております。</p> <p>観点 1 についてです。教芸は、巻頭に、その学年で学習する内容が、見開きで紹介されています。また、学習目標とともに、題材ごとの活動の内容を示した文が、題材の最初のページの、左側に、題材名とともに書かれていたり、各学習目標の下にも、その目標にそった活動文があったりしています。教出は、目次で、学習内容が示してあり、学習目標がページ左上に記載されています。音楽を形づくっている要素が、色を変えて表してあり、活動内容を示す文が、目次と題材の最初のページに示されています。「歌唱」については 2 者とも歌い方のポイントを写真や絵と文で示すコーナーを設けています。教芸は、歌唱の手がかりとして旋律の流れを表す図等があり、音楽の要素を意識させた指導しやすいと考えます。教出は、旋律の流れを手であらわす工夫がなされています。「器楽」については、教芸は、リコーダー指導において、楽器の扱い方、音の止め方、音あなのとじ方、指のはら等、リコーダーの紹介や演奏の基本事項を項目立てしてイラスト・写真・文などで示しています。教出は、リコーダー指導は、「こんにちはリコーダー」「めざせ楽器名人」として、段階的にリコーダーの指導を示しています。</p> <p>観点 2 です。教芸の第 3 学年の「音楽づくりで」は、基本のリズムや旋律を例示し、それを基に自分でリズムや旋律を作り、組み合わせる学習過程が示されています。教出の第 3 学年の「音楽づくり」は、まず楽器を選ばせて、音の出し方を試行錯誤して、音楽を味わう学習過程です。</p> <p>観点 3 です。教芸は、「歌いつなごう日本の歌」を配置しています。教出は、「につぼんのうた みんなのうた」コーナーを配置しています。</p> <p>観点 4 です。教芸は、音楽を形づくっている要素を見開き右ページ下に示し、巻末の「ふりかえりのページ」にその学年で扱う要素が関連するページ番号とともに、まとめて記載してあります。教出は、音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示し、中・高学年にはメモ欄をつけ、巻末に</p>

	<p>は「音楽のもと」としてまとめてあります。</p> <p>観点5です。教芸は、歌詞や曲の特徴やよりよい表現方法を考え話し合う活動を仕組んでいます。また、鑑賞では、感じたことと気づいたことを記入する欄の記載があります。教出は、「学び合う音楽」を設け個人で曲の魅力を見つけたり、グループでどんな表現にしていきたいか話し合ったりする場面を設定しています。また、鑑賞では、聴き取ったことや音楽の感じなどを記入する欄の記載があります。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>音楽づくりにおいて、基本のリズムや旋律を例示し、それをもとに自分でリズムや旋律をつくり組み合わせる学習過程が示されており、音楽づくりに主体的に取り組む工夫がされている。</p> <p>また、鑑賞では、音楽を聴いて感じたことと気づいたことを書くための表を掲載しており、聴き取ったことと感じ取ったこととを関連させた言語活動の工夫が図られている。</p> <p>以上のことから、音楽は、第一推薦を教芸としたいと思います。</p>
教育長	<p>それでは、これより質疑に入ります。只今の音楽の説明につきまして、質疑・意見等ありませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>質疑等が無いようですので、報告がありましたように、音楽につきましては教芸を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>異議無いようですので音楽につきましては教芸を採択することに決定しました。</p>
教育長	<p>続いて、図画工作についての説明を求めます。</p>
指導主事	<p>図画工作について報告します。現行は、日文です。第1推薦 開隆堂、第2推薦 日文となっております。</p> <p>観点1の「基礎・基本の定着」については、題材の目標を、つけたい資質、能力の3つの柱ごとに文で示していること、キャラクターを登場させて育てたい力に対応し学習を深める手助けをしているなどが共通点として挙げられます。開隆堂は、振り返りで、重点的に育てたい力に対応して児童が自己評価する際のヒントとなる言葉を文で示しています。巻末に、「造形の引き出し」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラスト等を使って説明しています。日文は、振り返りで「学びに向かう力、人間性等」の涵養へとつなげるために、活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例示しています。巻末に「使ってみよう材料と道具」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明をしています。</p> <p>観点2です。興味・感心を持たせるために、活動のきっかけとなる文を示していること、表現と鑑賞の関連を図り、身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形を鑑賞の対象としていること、などが共通点として挙げられます。開隆堂は、活動のきっかけとなる文を示しています。また、表現と鑑賞の関連が図られ、身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形が鑑賞の対象として、各学年で紹介されています。日文は、活動のきっかけとなる文を示しています。表現と鑑賞の関連が図られ、身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形が鑑賞の対象として、各学年で紹介されています。</p> <p>観点3です。開隆堂は、学年の項目において題材を5項目に分類して配列しており、育てたい資質能力を軸に内容が構成されています。日文は、学年の項目において題材を5項目に分類して配列しており、どの題材においても、三つの資質能力を同じように育てていくという考えで内容が構成されています。</p>

	<p>観点4です。2者ともに、発想・構想に関する発言やヒントをキャラクターの吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしています。開隆堂は「学習のめあて」の3つの目標が「～しよう」という形で、児童に働きかける言葉で記述してあります。教科書の最下部に、学習後の振り返りの視点と、他教科との関連が、枠付きで明示されています。日文は、「学習のめあて」の3つの目標が、「～する」という表記の形で記述してあります。教科書の最下部に、安全に係る留意点と片付けのポイント、学習に使う道具が明示されています。</p> <p>観点5です。開隆堂は、友達との関わり・対話を促す文が示されています。発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されています。日文は、友達との関わり・対話を促す文が示されています。発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>鑑賞において、感じたことを形や色で表す活動につなげるために、2つの美術作品を紹介し、児童が話し合いながら作品を製作し、鑑賞しあう題材が、活動する写真と共に掲載されており、表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫がされている。</p> <p>また、「学習のめあて」の3つの目標が「～しよう」と児童の学習を促す表現で示されており、教科書の最下部に、学習後の振り返りの視点と、他教科との関連が明示されており、題材の目標・振り返りの示し方において基礎・基本の定着を図る工夫がされている。</p> <p>以上のことから、図画工作は、第一推薦を開隆堂としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の図画工作に関わる説明につきまして、質疑・ご意見等ありますでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、図画工作につきましては、報告がありましたように開隆堂を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、図画工作につきましては、開隆堂を採択することに決定しました。
教育長	続いて、家庭について説明を求めます。
指導主事	<p>家庭について説明いたします。現行は東書です。第1推薦 東書、第2推薦 開隆堂になっております。</p> <p>観点1です。東書は、児童に身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能のポイントとしてそれぞれの題材ごとに「いつも確かめよう」のコーナーを設け、写真で分かりやすく示しています。例えば、包丁・まな板・計量スプーンの使い方を絵や写真・言葉による説明で示しています。手縫いやミシン縫いも写真やイラストで順序よく説明しています。さらに、巻末に実寸大の拡大写真があり、包丁で切ったり、手縫いをしたり、ミシンの調整をしたりする作業場面を、実際に手を乗せて真似をしながら修得できるようになっています。開隆堂は、巻末に家庭科学習でよく使われる基礎用語の索引があります。ガスコンロや調理器具の使い方、調理の手順、後片付けの仕方と、調理の基本が写真付きで細かく説明されています。また、安全マークにより、安全や衛生に対する配慮がかなりなされています。</p> <p>観点2です。東書では、学習指導要領に新設の「生活の課題と実践」に対応したページを、「生活を変えるチャンス！」として単元末の5ヶ所に掲載しています。巻頭の「成長の記録」では、題材ごとに分かったこと、できるようになったことを自己評価でき、学びの足跡が分かるようにしてい</p>

	<p>ます。開隆堂は、学習指導要領に新設の「生活の課題と実践」に対応したページを、「レッツトライ生活の課題と実践」として、第5・第6学年の間の4ページに掲載しています。</p> <p>観点3です。東書は、第5学年の最後にミシンの学習を配列しています。開隆堂は、第5学年の最初と最後にA領域「家族・家庭生活」にかかわる題材を配置しています。</p> <p>観点4です。東書は、「安全」や「日本の伝統」「プロに聞く！」などにあるように、マークの見出しが大きく、分かりやすくなっています。開隆堂は、生活の見方・考え方をハート、ダイヤ、スピード、クローバーの4つの視点のマークで示しています。</p> <p>観点5です。東書は、「活動」の「話し合おう」のところやワークシートに書く場面で、話し合いやまとめ方の例が示されています。家庭科の用語とその意味が「言葉」として、ページの一番下にあります。開隆堂は、「考えよう」や「話し合おう」「発表しよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げています。また、ページの一番下に、「ひとロメモ」が設定されており、家庭科の用語が説明してあります。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>「生活の課題と実践」に対応したページを、「生活を変えるチャンス！」として単元末の5ヶ所に掲載し、レポートや新聞等でのまとめ方を掲載しており、学習した内容を家庭や地域で実践することができる工夫がされている。</p> <p>また、身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能のポイントとして、巻末には「いつも確かめよう」を18か所掲載していたり、技能の習得のために「安全マーク」や「D」マークを示したりして、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、家庭科は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、家庭に関わりまして、質疑・質問等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、家庭につきましては、報告がありましたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、家庭につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	ここで、10分休憩といたします。
教育長	休憩を閉じて、会議を再開いたします。
教育長	続いて、保健について説明を求めます。
指導主事	<p>保健について報告します。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 学研となっております。</p> <p>観点1です。東書では、動機付けの後に、項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示をしています。学研では、全ての章のはじめに写真を掲載し、学習内容につながる疑問を提示しています。</p> <p>観点2です。東書は、巻頭の「この教科書の使い方」で学習の進め方を示しています。「ステップ1：気づく・見つける」→「ステップ2：調べる・解決する」→「ステップ3：深める・伝える」→「ステップ4：まとめる・生かす」という学習過程で構成されています。学研は、巻頭の「楽しく学ぼう！ほけん（保健）の学習」で学習の進め方を示しています。「つかむ(チェックする、ふり返る、話し合う、考える、たしかめる、くらべる)」→「考える・調べる(考える、調べる、資料を読み取る、話し合う、くらべる、ふり返る、チェックする)」→「まとめる・深める(学びを活用する、生活につなげる、目標を立てる、実習をふり返る)」という学習過程で構成されています。</p>

	<p>観点3です。東書では、発展的な学習に関する内容の記述が第3・4学年と第5・6学年合わせて20であります。学研では、発展的な学習に関する内容の記述が第3・4学年と第5・6学年合わせて20であります。</p> <p>観点4です。東書は、グラフ等の統計資料が7箇所使用されています。学研は、グラフなどの統計資料が6箇所使用されています。</p> <p>観点5についてです。東書では、まとめを書くスペースがあります。学研では、生活につながる記述のスペースがあります。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>「この教科書の使い方」で学習の進め方を示しており、課題解決の過程をステップ1～4の4段階で示されており、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫がされている。</p> <p>また、まとめを書くなど記入を意識したスペースが多く示されており、身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、保健は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、保健に関わりまして、質疑・意見等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、保健につきましては、報告がありましたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、保健につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	続いて、英語について説明を求めます。
指導主事	<p>英語について報告します。第1推薦 東書、第2推薦 啓林館となっております。</p> <p>観点1です。東書は「Our Goal」、啓林館は「GOAL」として、2者ともに単元の冒頭に、各単元の目標を提示しており、文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元があります。東書は、歌やチャンツを使った活動と「Sounds and Letters」でアルファベットの文字と音を知る活動が毎時間あります。啓林館は、各単元の学習目標を提示しており、文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元があります。また、繰り返し聞いたり、言ったりする基本的な語彙や表現の使い方を知る「Listen and Do」や「Listen and Say」の活動があります。</p> <p>観点2です。2者とも単元の目標が明示されており、見通しをもって活動することができるよう工夫されています。東書は、見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載しています。また、二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等について聞く・読む・書く活動、歌やチャンツを設定しています。啓林館は、見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国旗を掲載しています。夢の海外世界旅行について聞く活動を設定しています。</p> <p>観点3です。東書では、各単元末の「Enjoy Communication」において、話す活動、小テーマ毎（年間3回）の最後に「Check Your Steps」を設定し、小テーマごとに年間3回のスピーチ活動を設けています。また、別冊の「Picture Dictionary」があり、5・6年生を通して辞書として活用することができます。啓林館では、各単元末の「Activity」において話す活動、各学期の最後に「Review」で活用する活動を設定してあります。巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が多く掲載されています。</p>

	<p>観点4です。東書は、5領域に関連した活動を示すマークとキャラクターを設定し、紙面に明示しています。啓林館は、巻頭に「登場人物」として、9人の人物と2羽の鳥を紹介して、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場しています。</p> <p>観点5です。東書は、英語を使用する日常の場面が設定されています。5年生では日本、6年生では世界を取り上げ、視野を広げるように示し、「Small Talk」、「Sound and Letters」を各単元に設定し、言語の使用場面や働きを重視しています。啓林館は、各所に文字に触れる場面を設定し、段階的に文字を読んだり、書いたりする機会を増やすことで中学校の学習につながるようにしています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>各単元の終末の「Enjoy Communication」において、「話す」活動を設定しており、さらに3回の「Check Your Steps」において、スピーチ活動を設定するなどして、知識・技能の活用を促す配列の工夫がされている。</p> <p>また、見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載し、二次元コードの活用においても、世界の有名な建物や食べ物等について聞く・読む・書く活動、歌、チャンツを設定しており、興味・関心を高めるための工夫がされている。</p> <p>以上のことから、英語は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、英語に関わりまして、質疑・意見等いかがでしょうか。
委員	新しく教科として入ってくるとなったとき、これまでの慣れ親しむことをしてきたことから、楽しい、面白いという要素を大切にすることが必要なのではないか。そう考えると、英語が楽しい、面白いということが感じられる教科書というのは、どの観点で見ることができるのか。
指導主事	観点2「主体的に学習に取り組む工夫」の中にある、視点③「興味・関心を高めるための工夫」で見ることができると考えます。また、英語はコミュニケーションが重要視されていることから、観点5「言語活動の充実」の中にある視点⑩「対話的な学びを促す言語活動の工夫」でみることができると考えています。
教育長	その他、ありませんか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、英語につきましては、報告がありましたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、英語につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	続いて、道徳について説明を求めます。
指導主事	<p>道徳について報告します。現行は、光村です。第1推薦 光村、第2推薦 東書となっております。</p> <p>観点1です。光村は、学習活動について、考える視点や話し合う方法を合わせて具体的に示しています。また、話合いの仕方、役割演技の仕方についての説明が設定されている。東書は、学習の流れを示し、「聞く」「役割演技」「話合い」等の六つの学習活動を紹介し、道徳授業のオリエンテーションができるように巻頭で短い教材が示されています。</p> <p>観点2です。光村は、教材の冒頭に、問題意識をもたせる問いを示しています。問題解決的な学習ができるように「考えよう」のコーナーを設け、教材文の後に挿絵とともに役割演技を促す発問を示しています。東書は、問題意識をもたせる工夫をし、教材の後に考えるステップを設定して、問題解決学習の流れを示しています。また、体験的な学習については「出会う・ふれ合う」のマークを使い、目次及び該当ページに示しています。</p> <p>観点3です。光村は、様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材を、よびかけとコラムとともに</p>

	<p>に一つのユニットとして設けています。東書は、いじめ問題を題材として直接的・間接的に扱う二つの教材を、一つのユニットとして設けています。</p> <p>観点4です。光村は、目次の前に、命をテーマにした詩を掲載し、巻末には、人とよりよい関係を築くための付録を示しています。東書は、「出会う・ふれ合う」「つながる・広がる」「問題を見つけて考える」「いじめのない世界へ」「情報モラル」のマークや「Dマーク」、キャラクター「こころん」を設定している。</p> <p>観点5についてです。光村は、「学習のまとめり」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」とともに、自分の学びの変化や学んだことが生かされたことを記入する、「まとめ」の欄を設定しています。東書は、巻末に、1時間の授業ごとに色を一コマ塗ったり学習を振り返って自己評価をマークで描いたりするページを設けています。また、1年間を振り返ったり、心に残った教材を振り返ってまとめたりするページを設定しています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>教材の冒頭に、問題意識をもたせる問いを記載したり、問題解決的な学習ができるように「考えよう・話し合おう」のコーナーを設け、学習のめあてや発問を記載したりすることで、主体的に学習を進められるような工夫がされている。</p> <p>また、様々な内容項目からいじめ問題に結び付く教材とコラムを1つのユニットとして設け、学年の前半に位置付けてあり、現代的な諸課題等を踏まえた内容構成の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、道徳は、第一推薦を光村としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、道徳に関わりまして、質疑・意見等いかがでしょうか。
委員	道徳の教科書は、なぜ左開きになっているのか。
指導主事	国語等と同様で、縦書きになっているからです。
教育長	その他、ありませんか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、道徳につきましては、報告がありましたように光村を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、道徳につきましては、光村を採択することに決定しました。
教育長	以上で、すべての教科の採択が終了しましたので、議案第30号令和2年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書採択につきましては原案のとおりとすることに異議ありませんか。
委員一同	ありません。
教育長	ご異議無いようですので、議案第30号につきましては、原案のとおりとすることに決定をいたしました。